

〈議会報告〉 2020年8月5日、日本共産党春日部市議団

党市議団 石川市長へ

新型コロナ対策に関する緊急要望書提出、懇談 発熱外来を拡充してPCR等検査を



石川市長と党市議団（1名欠席）

8月4日（火）、党市議団は、石川市長に「新型コロナ対策に関する緊急要望書」を提出し、懇談しました。市長公室長、健康保険部長が同席しました。

要望書全文は、下記のとおりです。

2020年8月4日

春日部市長 石川 良三 様

日本共産党春日部市議会議員団
団 長 松本 浩一
幹 事 長 並木 敏恵
卯月 武彦
大野とし子
今尾 安徳
坂巻 勝則

新型コロナ対策に関する緊急要望書

長期にわたり新型コロナウイルスの感染防止対策のために奮闘されている市長はじめ、職員の皆様に感謝申し上げます。

7月に入ってから新型コロナウイルスの感染急拡大は、きわめて憂慮すべき事態となっています。春日部市においても、8月3日現在累計で76人の感染者が確認されており、市民の中に大きな不安が広がっています。感染の急激な拡大が、医療の逼迫（ひっばく）、さらに医

療崩壊を引き起こし、救える命が失われることが、強く懸念されます。

7月28日 日本共産党の志位和夫委員長は、安倍晋三内閣総理大臣に対して、「もはや一刻も猶予はならない。日本のPCR検査の人口比での実施数は、世界で159位であり、この異常な遅れは、どんな言い訳も通用するものではない。政府が、自治体、大学、研究機関、民間の検査会社など、あらゆる検査能力を総動員し、すみやかに行動することを強く求める。」と、「緊急申し入れ」を行いました。

現在の感染急拡大を抑止するには、PCR等検査を文字通り大規模に実施し、陽性者を隔離・保護するとりくみを行う以外にはありません。

つきましては、春日部市においても緊急の対策を講じるよう、下記の通り要望しますので、よろしく願いいたします。

記

1 市が設置した臨時の「発熱外来」を急いで拡充し、医療機関、介護施設、福祉施設、保育所・幼稚園、学校、市役所、消防署など、集団感染によるリスクが高い施設に勤務する職員への定期的なPCR等検査を行うこと。必要におうじて、施設利用者全体を対象にした検査を行うこと。

2 下記のことを、国・県に強く要望すること。

- ① 検査によって明らかになった陽性者を、隔離・保護・治療する体制を、緊急につくりあげること。
- ② 無症状・軽症の陽性者を隔離・保護するための宿泊療養施設の確保を緊急に行い、自宅待機を余儀なくされる場合には、生活物資を届け、体調管理を行う体制をつくること。
- ③ 中等症・重症のコロナ患者を受け入れる病床の確保を行う。新型コロナの影響による医療機関の減収補償は急務である。減収によって、医療従事者の待遇が悪化するなどは絶対に許されない。医療従事者の処遇改善、危険手当の支給、心身のケアのために、思い切った財政的支援を政府の責任で行うこと。